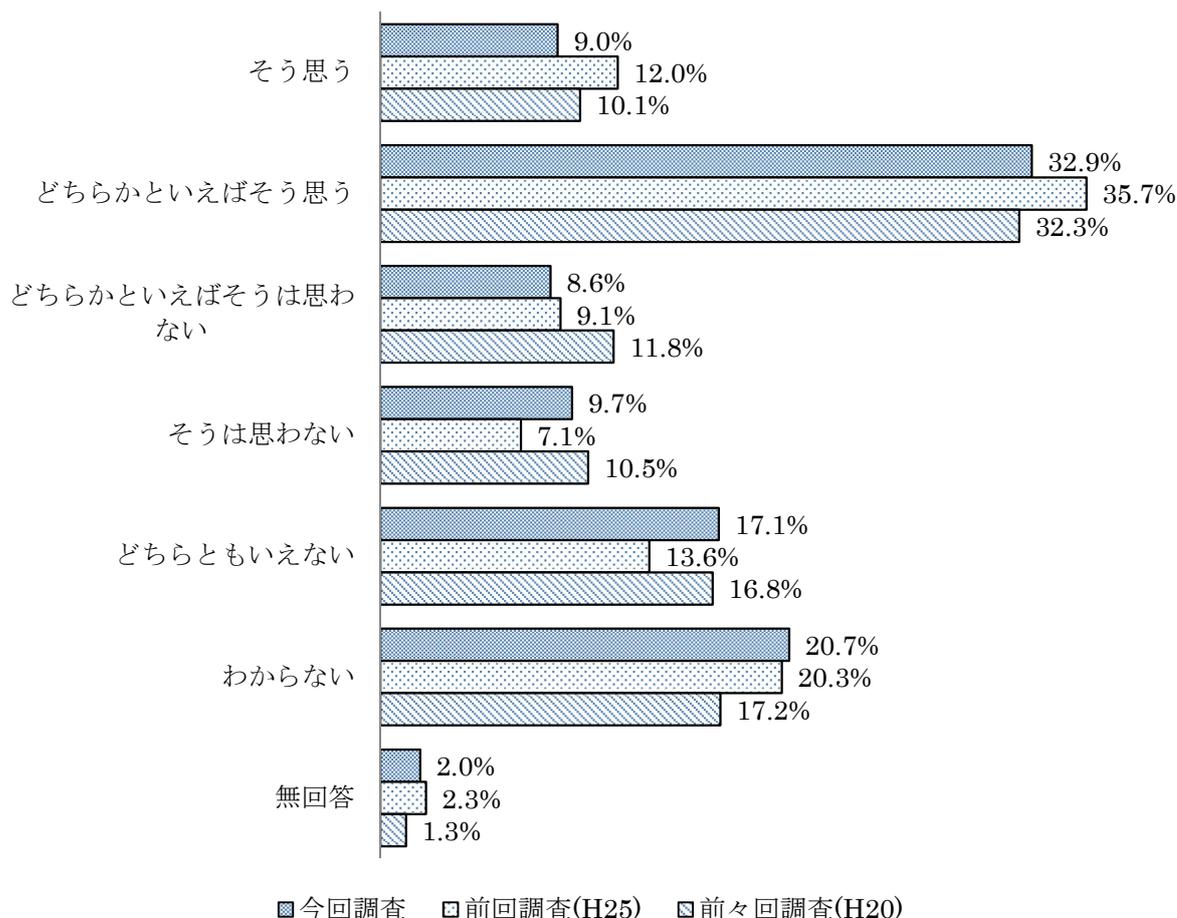


1 人権全般

(1) 人権意識について

【問1】

あなたは、今の宮崎県は「人権が尊重される県」になっていると思いますか。
あなたの気持ちに一番近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

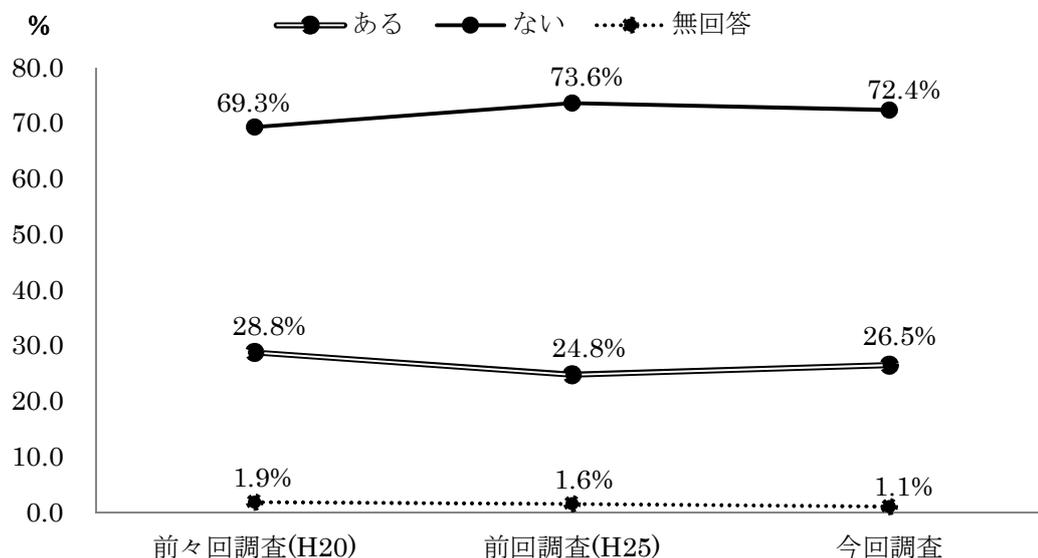


- ・ 「どちらかといえばそう思う」が32.9%と最も高く、次いで「わからない」が20.7%、「どちらともいえない」が17.1%となっている。
- ・ 肯定的回答（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」）の合計が41.9%と、否定的回答（「どちらかといえばそう思わない」、「そうは思わない」）の合計18.3%を大きく上回っているが、前回の調査結果と比較すると、肯定的回答が5.8ポイントの減少に対し、否定的回答は2.1ポイント増加している。
- ・ なお、肯定的回答の割合を男女別に見ると、男性(47.3%)が女性(38.5%)より約9ポイント高い。

(2) 人権侵害の経験の有無

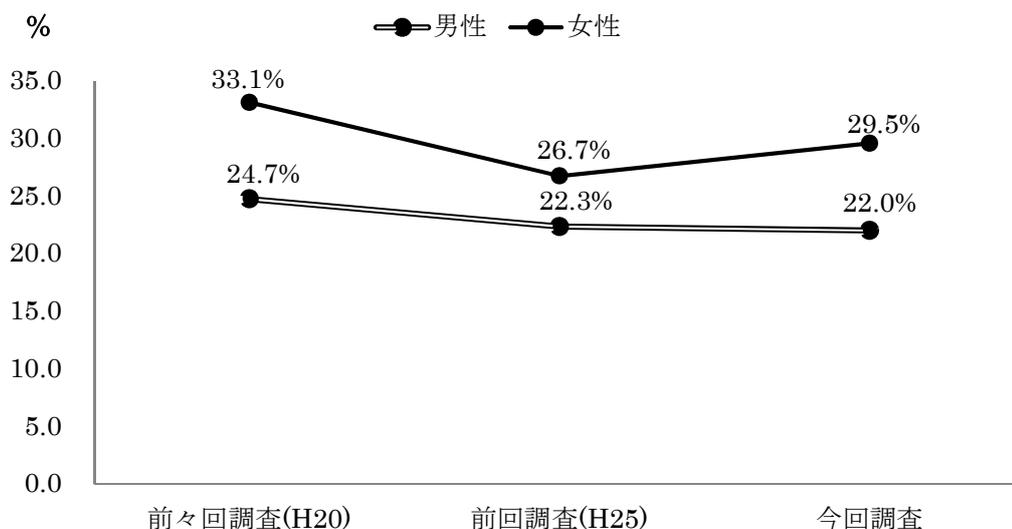
【問2】

あなたは、ご自分の人権が侵害されたと思ったことはありますか。どちらか1つを選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「ある」と答えた人が26.5%、「ない」と答えた人が72.4%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「ある」と答えた人は、1.7ポイント増加している。
- ・ なお、「ある」と答えた人の割合を男女別に見ると、女性(29.5%)が男性(22.0%)より7.5ポイント高い。また、男性は減少傾向にあるが、女性は前回よりも2.8ポイント増加している。

【「ある」と答えた男女別割合の変化】



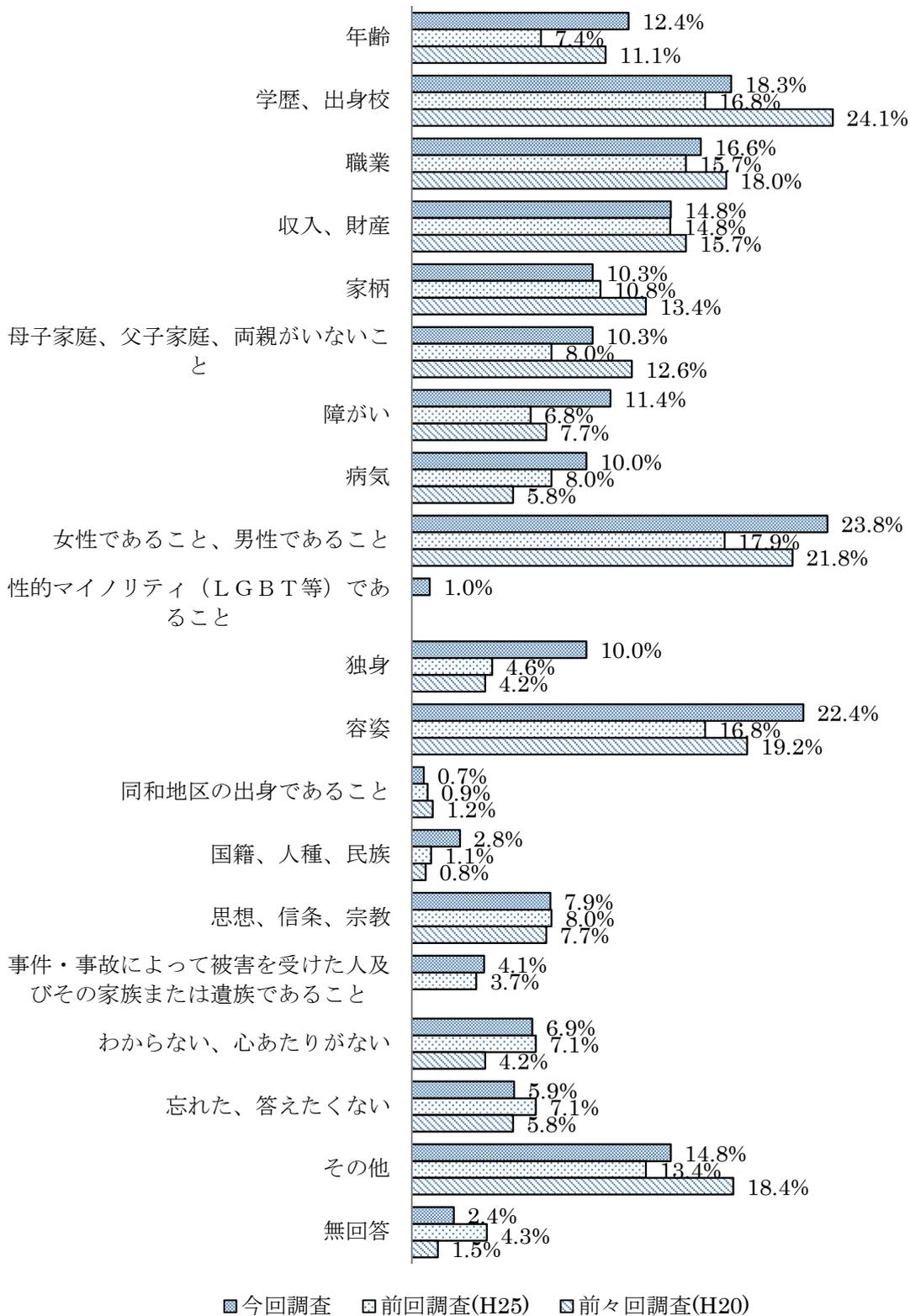
【参考】全国調査との比較

項目		人権が侵害されたと思ったことがある	
		県民意識調査	内閣府調査
全体		26.5%	15.9%
内訳	男性	22.0%	13.8%
	女性	29.5%	17.6%

【問2-2】

【問2】で「ある」と答えた方におたずねします。

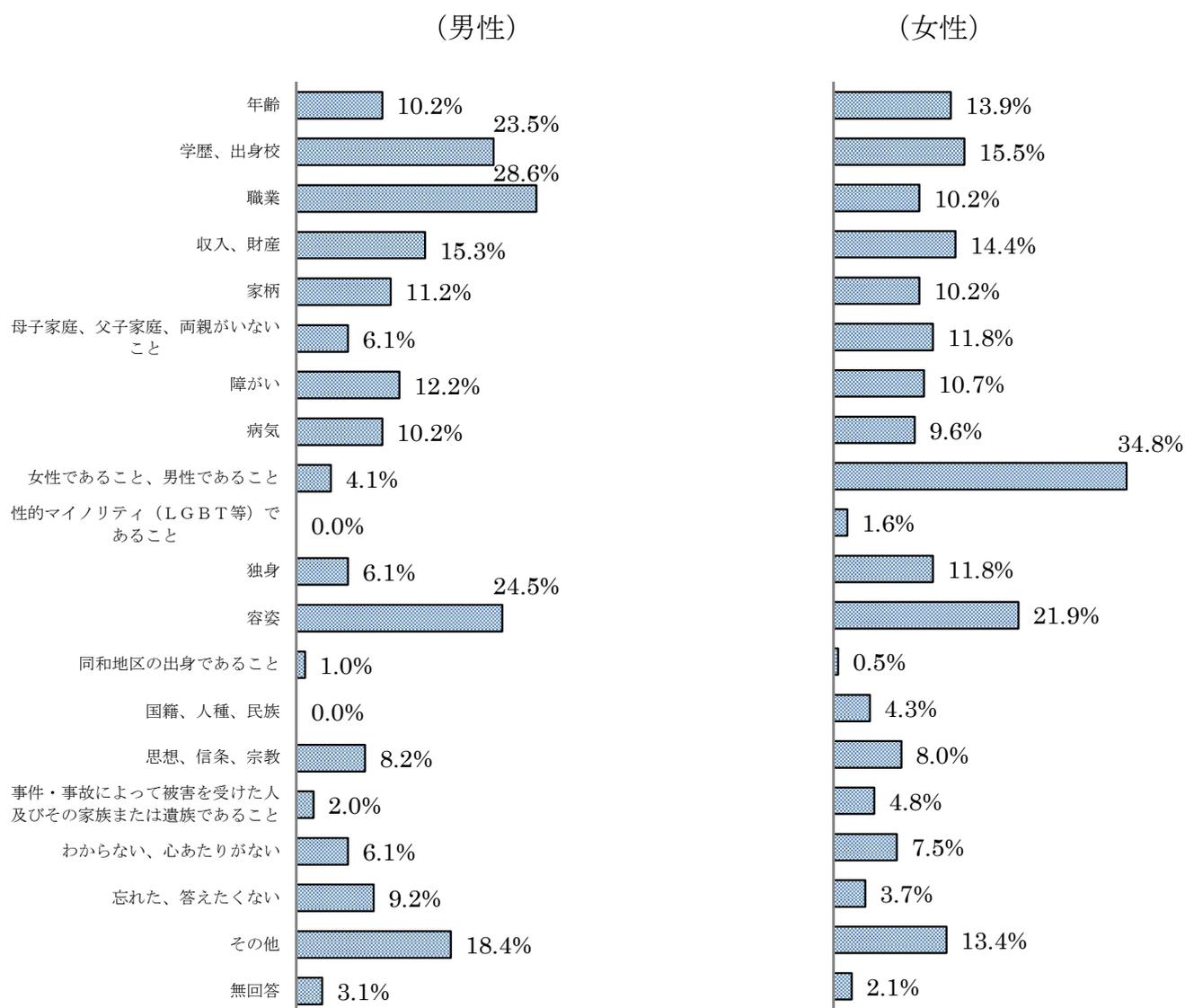
どのような理由から人権侵害を受けましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「女性であること、男性であること」が 23.8%と最も高く、次いで「容姿」が 22.4%、「学歴、出身校」が 18.3%、「職業」が 16.6%となっている。また、今年度新たに設けた「性的マイノリティ（LGBT等）であること」は 1.0%となっている。
- ・ 前回調査及び今回調査のいずれにおいても「女性であること、男性であること」が最も高い。

前回の調査結果と比較すると、「女性であること、男性であること」が 5.9 ポイント増、「容姿」が 5.6 ポイント増、「独身」が 5.4 ポイント増となっている。

- ・ なお、男女別に見ると、男性の場合、多い順に「職業」が 28.6%、「容姿」が 24.5%、「学歴、出身校」が 23.5%であり、「女性であること、男性であること」は 4.1%と少ない。一方、女性の場合、多い順に「女性であること、男性であること」が 34.8%、「容姿」が 21.9%、「学歴、出身校」が 15.5%となっている。



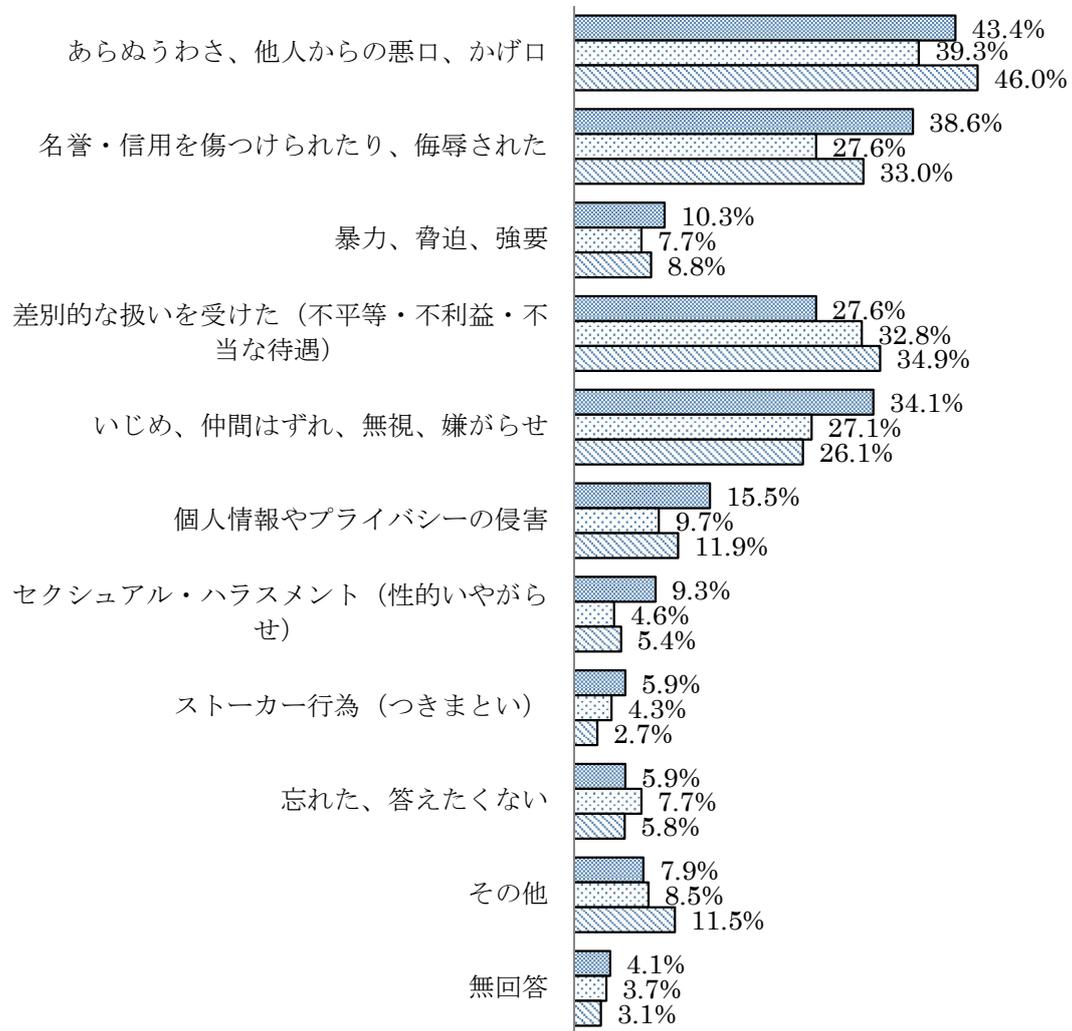
◆ 「その他」の主な内容

- ・ 出身地（田舎の出身、県外の出身、方言等）
- ・ 職場での問題（上下関係、非正規雇用等）
- ・ 家庭での問題（嫁であること、不妊等）

【問2-3】

【問2】で「ある」と答えた方におたずねします。

あなたが受けた人権侵害の内容はどのようなものでしたか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



■ 今回調査 □ 前回調査(H25) ▨ 前々回調査(H20)

- ・ 「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口」が43.4%と最も高く、次いで「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が38.6%、「いじめ、仲間はずれ、無視、嫌がらせ」が34.1%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が11.0ポイント増、「いじめ、仲間はずれ、無視、嫌がらせ」が7.0ポイント増、「個人情報やプライバシーの侵害」が5.8ポイント増、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が4.7ポイント増となっている。

◆ 「その他」の主な内容

- ・ 職場でのパワーハラスメント（過大な仕事、不利益、暴言、恫喝、解雇）
- ・ 差別的な発言、暴言
- ・ 痴漢行為

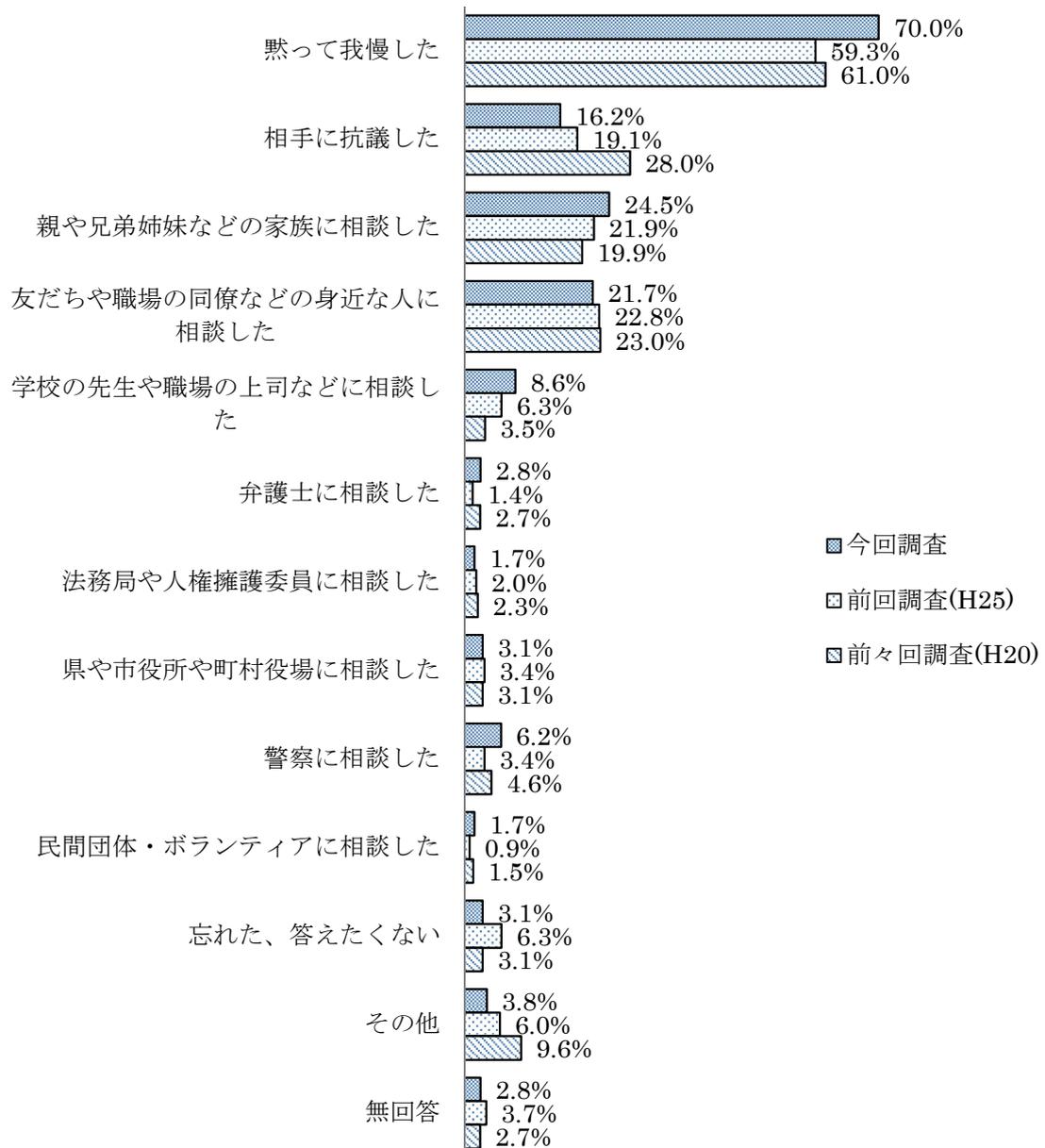
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口	43.4%	51.6%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	38.6%	21.1%
暴力、脅迫、強要	10.3%	5.7%
差別的な扱いを受けた（不平等・不利益・不当な待遇）	27.6%	9.3%
いじめ、仲間はずれ、無視、嫌がらせ	34.1%	（地域社会での嫌がらせ） 4.3%
		（学校でのいじめ） 21.1%
		（職場での嫌がらせ） 26.2%
個人情報やプライバシーの侵害	15.5%	19.4%
セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	9.3%	5.4%
ストーカー行為（つきまとい）	5.9%	—
忘れた、答えたくない	5.9%	1.8%
その他	7.9%	4.7%

【問2-4】

【問2】で「ある」と答えた方におたずねします。

あなたは人権侵害を受けた時、どのようにしましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「黙って我慢した」が70.0%と最も高く、次いで「親や兄弟姉妹などの家族に相談した」が24.5%、「友だちや職場の同僚などの身近な人に相談した」が21.7%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「黙って我慢した」が10.7ポイント増と大きく増加する一方、「相手に抗議した」が、2.9ポイント減少している。
- ・ 「法務局や人権擁護委員」(1.7%)「県や市役所や町村役場」(3.1%)「警察」(6.2%)等の公的相談機関に相談した割合は少ない。

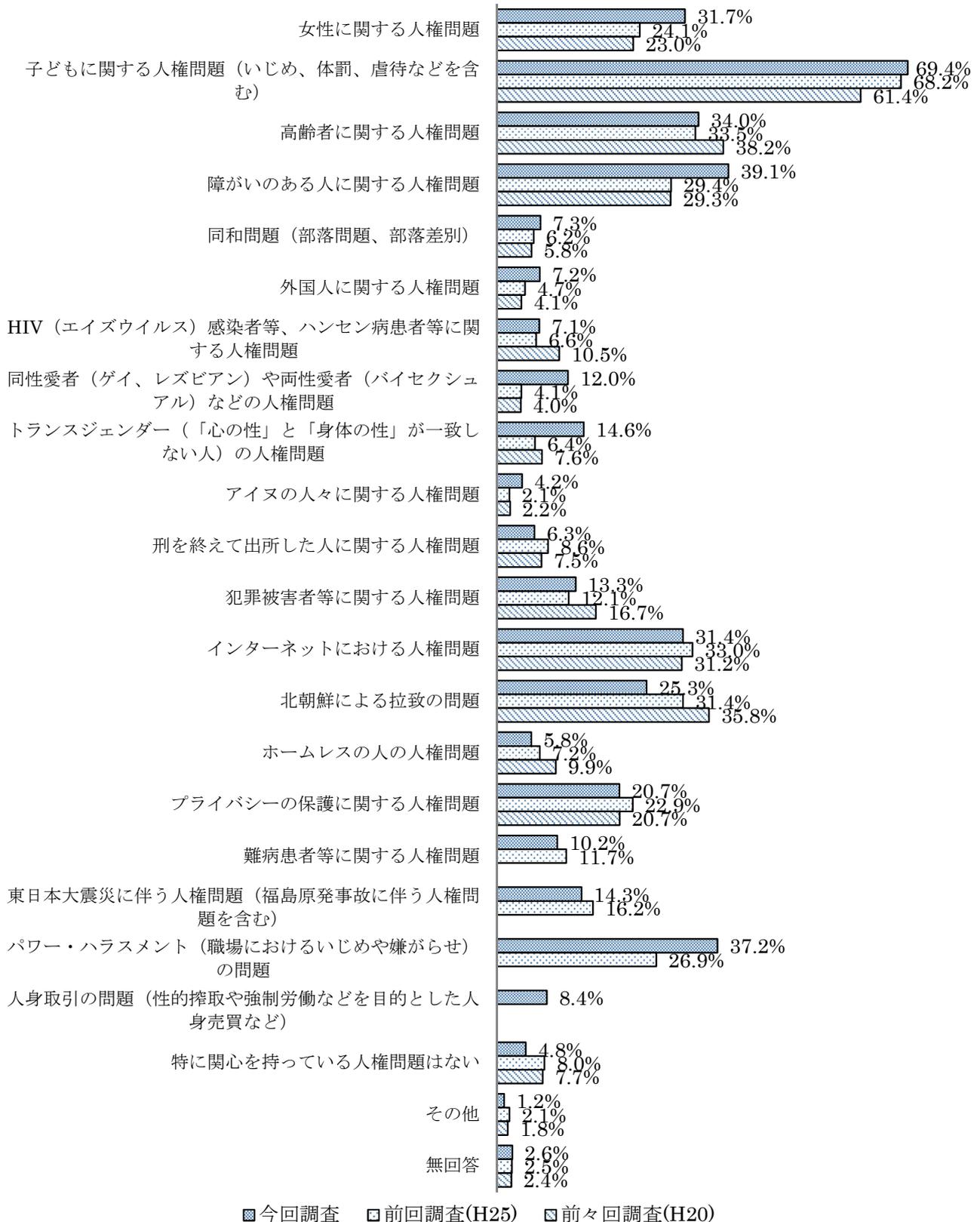
◆ 「その他」の主な内容

- ・ 労働基準監督署等に相談した。
- ・ 退職、引越
- ・ 自殺を考えた。

(3) 関心を持っている人権問題

【問3】

次に挙げる人権問題の中で、現在、あなたが関心を持っているのはどの問題ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・「子どもに関する人権問題」が69.4%と最も高く、次いで「障がいのある人に関する人権問題」が39.1%、「パワー・ハラスメント」が37.2%、「高齢者に関する人権問題」が34.0%となっている。また、今年度新たに設けた「人身取引の問題」は8.4%となっている。
- ・前回の調査結果と比較すると、「パワー・ハラスメント」が10.3ポイント増、「障がい者に関する人権問題」が9.7ポイント増、「トランスジェンダーの人権問題」が8.2ポイント増、「同性愛者や両性愛者などの人権問題」が7.9ポイント増となっている。一方、「北朝鮮よる拉致の問題」が6.1ポイント減となっている。

【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
女性に関する人権問題	31.7%	30.6%
子どもに関する人権問題	69.4%	33.7%
高齢者に関する人権問題	34.0%	36.7%
障がいのある人に関する人権問題	39.1%	51.1%
同和問題（部落問題、部落差別）	7.3%	14.0%
外国人に関する人権問題	7.2%	15.0%
HIV（エイズウイルス）感染者等に関する人権問題	7.1%	10.8%
ハンセン病患者等に関する人権問題		11.2%
同性愛者や両性愛者などの人権問題	12.0%	15.0%
トランスジェンダーの人権問題	14.6%	15.5%
アイヌの人々に関する人権問題	4.2%	6.7%
刑を終えて出所した人に関する人権問題	6.3%	14.6%
犯罪被害者等に関する人権問題	13.3%	16.9%
インターネットにおける人権問題	31.4%	43.2%
北朝鮮による拉致の問題	25.3%	26.2%
ホームレスの人の人権問題	5.8%	11.8%
プライバシーの保護に関する人権問題	20.7%	—
難病患者等に関する人権問題	10.2%	—
東日本大震災に伴う人権問題	14.3%	28.8%
パワー・ハラスメントの問題	37.2%	—
人身取引の問題	8.4%	10.5%
特に関心を持っている人権問題はない	4.8%	7.6%
その他	1.2%	0.2%